



日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 6 月末現在）

	5 月	6 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,913	3,111	412,908	546,235
患者登録者数	285	233	3,190	36,100
移植例数	102	120	-	14,374

■20 歳未満のドナー登録者数

6 月 307 人
合計 18,029 人（17 年 3 月～）

■51 歳以上のドナー登録者数

6 月新規 128 人
延長 222 人
合計 27,990 人

■6 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／1,289 人、献血併行型集団登録会／1,734 人、集団登録会／17 人、その他／71 人 注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）812 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）495 件

■国際協力の現状（2012 年 4 月～6 月）

< 海外ドナー⇒国内患者 > 移植数 1 件：（NMDP 1 件） 累計移植数：172 件

< 国内ドナー⇒海外患者 > 提供数 2 件：（NMDP 1 件、KMDP 1 件） 累計提供数：213 件

1 理事の改選と平成 23 年度事業報告等について

6 月 27 日（水）に開催された第 1 回通常評議員会で理事の改選が行われ、続いて開催された臨時理事会において新理事長、新副理事長が選任されました。8 年間にわたり理事長を務めた正岡徹前理事長は理事を退任し、高久史麿元理事長とともに新たに設置された顧問に選任されました。また新たに設置されたアドバイザリーボードメンバーについても承認されました。

【新理事】（敬称略）

理事長：齋藤英彦（新） 副理事長：伊藤雅治、小寺良尚（新） 理事：加藤俊一、佐々木利和、鈴木利治、谷口修一（新）、橋本明子

また、本評議員会において、平成 23 年度事業報告（案）、平成 23 年度決算報告（案）等が審議、承認されました。事業報告の概要は以下のとおりです。

平成 23 年度に当財団が仲介した非血縁者間骨髄移植・末梢血幹細胞移植は 1,272 例で、過去最高となりました。また、新規ドナー登録者は 41,763 人で、平成 17 年度に次ぐ 2 番目に多い数字です。この結果、平成 24 年 3 月末の登録者数は 407,871 人となりました。

平成 22 年 10 月に導入した非血縁者間末梢血幹細胞移植については、平成 23 年 10 月に「骨髄提供履歴あり」というドナーの条件を撤廃し、対象ドナーの拡大を図りました。また、平成 24 年 6 月に予定していたコーディネートの本格稼働に向け、PBSC T に対応するシステム開発を進めました。

平成 23 年度の決算については、移植件数が増加したこと、遺贈や松隈基金の大口のご寄付があったこと等により正味財産が増加しました。

※役員名簿、平成 23 年度事業報告、平成 23 年度決算報告については、財団ホームページをご覧ください。

HOME > 骨髄移植推進財団について > 骨髄移植推進財団の概要 >

「役員名簿」・「平成 23 年度事業報告」・「平成 23 年度決算報告」



2 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」（案）について

6月12日、自民・公明党を中心とする議員立法として「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」（案）が参議院議長に提出されました。この法律（案）は、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業及び臍帯血供給事業について必要な規制及び助成を行うこと等により、造血幹細胞移植の円滑かつ適正な実施に資することを目的とするものです。この法律が迅速な審議によって速やかに成立することが望まれます。

3 国家公務員のドナー休暇制度の改正

国家公務員のドナー休暇制度は、人事院規則 15-14 第 22 条第 1 項第 3 号に規定されていますが、これまでこの特別休暇は「骨髄液の」提供希望者を対象としていました。このたび骨髄バンクにおける末梢血幹細胞移植の導入に伴って「骨髄若しくは末梢血幹細胞移植のための末梢血幹細胞の」提供希望者が対象となるよう改正されました。

本規則は平成 24 年 7 月 1 日から施行されています。

4 PBSC Tコーディネートの状況について

前号でお知らせしたとおり、6月25日にPBSC Tのコーディネート支援システムが稼働し、地区事務局においてPBSC Tの調整を開始しました。

非血縁者間PBSC T採取・移植認定施設は 36 施設で、コーディネート件数は徐々に増えていますが、これまでに骨髄バンクを通じて実施された末梢血幹細胞移植は 8 例に留まっています。患者側の希望は、本年 7 月上旬に調査した結果では、①骨髄移植のみ 41%、②どちらかという骨髄移植 36%、③どちらかという PBSC T 12%、④どちらでもよい 11%です。昨年 9 月の調査では、それぞれ、①44%、②39%、③7%、④9%でしたので、PBSC Tを希望する例が少しずつ増えていますが、まだまだ骨髄移植を希望するケースが多いと言えます。

ドナーの方の安全に留意しつつ患者さんのニーズにこたえられるよう、引き続き課題に取り組んでまいります。

5 ACジャパンの新しい広告キャンペーンについて

7月1日よりACジャパンの2012年度骨髄バンク支援キャンペーンが始まりました。イメージキャラクターは女優の川島海荷さんです。自身も18歳の川島さんが「18歳からの骨髄ドナー登録」を訴えかけるCMはテレビやラジオ、新聞、雑誌で、ポスターは駅貼りなど交通広告などでも見ることができます。

「私も、考えてみようと思います」彼女の声がたくさんの方に届くことを期待します。

6 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	7月20日(金) 17:30~19:30 廣瀬第1ビル2階会議室
医療委員会	公開・一部非公開	7月28日(土) 14:30~17:00 廣瀬第1ビル2階会議室
ドナー安全委員会	非公開	8月4日(土) 12:30~16:30 ちよだプラットフォームスクエア

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 「骨髄提供に関する同意書」の改訂について

ドナー用説明冊子を一本化し、7月4日(水)からコーディネーター開始となった骨髄提供のコーディネーター対象者にも「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」を送付しています。

これに伴い、「骨髄提供に関する同意書」(骨髄の最終同意書)の改訂を行います。

コーディネーターの方々には、改訂後の「骨髄提供に関する同意書」(見本)を今月号のマンスリーJMDPに同封します。また、詳細な運用方法については別紙をご参照ください。

○変更箇所(下線部分追加)

1. 私は、骨髄移植推進財団のコーディネーター、および調整医師(施設名)より、「骨髄または末梢血幹細胞提供者となられる方へのご説明書」にそって、下記の事項につき説明を受け了解しました。

8 専用証明書による骨髄ドナー手術給付金の申請について(プルデンシャル生命保険)

休業補償がないドナーへの経済的支援と社会貢献の見地から、現在、10社以上の損害保険・生命保険各社、共済互助会が骨髄提供に給付金を支払う個人保険を販売しています。

申請にあたっては、ドナーご本人が採取施設発行の診断書を取得していただく必要があり、時間・金銭両面での負担を伴いましたが、このたび、プルデンシャル生命保険株式会社の骨髄ドナー給付については、財団発行の専用証明書での手続きが可能になりました。ただし、休暇取得の際に使う通常の証明書ではなく、ドナー生年月日および提供日が記載された専用の証明書となりますので、ドナーからコーディネーターにお申し出があった場合は、地区事務局経由でドナーコーディネーター部にご連絡くださいますようお願いいたします。また、当面、プルデンシャル生命保険の商品のみが対象となりますのでご了承ください。



9 造血幹細胞適合検索サービスの一時停止について

システムメンテナンスのため、造血幹細胞適合検索サービスを以下の期間停止します。ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしく申し上げます。

7月15日（日）9：00～17日（火）9：00

10 連絡事項

◆システム外帳票の改訂について（コーディネーターの方へ）

末梢血幹細胞ドナーにも対応できるよう、以下のシステム外帳票（ドナー宛）について改訂します。7/17（火）以降、順次変更後の帳票をドナーの方へお送りします。すでに送付済みのものについて差し替えの必要はありません。変更後の帳票見本は今号に同封しています。

<改訂するシステム外帳票>

- ①海外渡航についてのお願い
- ②骨髄提供者由来の遺伝学的情報を含む病的意義のある情報開示に関するご意向の確認について（ご説明書）
- ③骨髄提供者由来の遺伝学的情報を含む病的意義のある情報に関する対応（Q&A）
- ④骨髄提供者由来の遺伝学的情報を含む病的意義のある情報開示に関する意思確認書
- ⑤DLI に関するご説明書
- ⑥DLI 採血前をお願いしたいこと

<変更点>

「骨髄」と表記している箇所について「骨髄・末梢血幹細胞」に変更します（内容に変更はありません）。

◆骨髄バンクハンドブックの送付について（コーディネーターの方へ）

前号でお知らせしました患者さんとご家族のための冊子「骨髄バンクハンドブック」を同封します。

◆ドナー登録のしおり「チャンス」とバンクニュースの送付について

調整医師・採取責任医師の方へドナー登録のしおり「チャンス」改訂版と、日本骨髄バンクニュースvol. 40を同封します。